

2017年度東海大学付属熊本星翔高等学校 学校評価結果

分野	重点目標	取組み計画・内容	自己評価 (4段階評価 : 4. そう思う, 3. だいたいそう思う, 2. あまりそう思わない, 1. そう思わない)				次年度	第三者評価
			成果	課題	2016年度	2017年度		
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営方針に沿った教育活動を実践する。 ・地域から高い評価を受ける学校づくりと中学校や保護者に選ばれる学校づくりに邁進する。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学校の特色を示す。 (2) 入学したいとさせる学校とする。 (3) 危機管理・安全対策に努める。 (4) 教育に熱心に取り組む。 (5) 施設設備等教育環境の充実に努める。 (6) 保護者対応の充実に努める。 (7) 保護者・地域との連携と情報発信に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の「学習と部活動の両立」による教育方針は生徒・保護者から高い評価を得ている。 ・教職員の教育・部活動に対する姿勢についての評価は高い。 ・教育環境の充実は、無線LAN・プロジェクター・タブレットPCなどのICT機器を活用した授業の展開により、高い評価を得ている。 ・教職員の保護者対応(電話・窓口・面談等)は高い評価を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学させたい学校として、保護者の評価が昨年度を下回った。公立高校優位の地域性もあるが、本校の特色を更にPRしていく必要がある。 ・危機管理・安全対策の評価では、生徒・保護者の評価と比較して教職員の評価が低い。更なる改善が必要である。 ・情報発信は一定の評価は得ているが、昨年度を下回った。利害関係者に限定せず広く一般に向けての改善が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒 2.94 生徒 3.04 保護者 3.15 保護者 2.89 教職員 3.02 教職員 3.66 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活全般における生徒の満足度向上に努め、教育諸活動に対する保護者の理解促進を図る。 ・危機管理室を中心に、学校運営に係る様々なリスクに対する管理体制の強化を図る。 ・HPやSNSなどを利用して教育活動を積極的に情報発信し、本校への理解促進を図る。 ・地域活動への積極的な参加と通学マナーの向上、挨拶の励行を推進し、地域に認められる学校としていく。 ・教職員研修を通して、学校運営に係る様々な事象に対応できるよう資質向上を図る。 	-	-
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着を図る。 ・授業改革を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 基礎学力の定着に努める。 (2) 家庭学習を身につけさせる。 (3) ベストティーチャー制度の充実に努める。 (4) 学習意欲の向上に努める。 (5) 東海大学と連携した授業やプログラムの推進を図る。 (6) 図書館の積極的な利用を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器の活用により、教員個々の指導方法が更に工夫され、学習意欲の向上、家庭学習の習慣、基礎学力の定着など生徒・教員の評価を得ている。 ・東海大学と連携した授業やプログラムでは、生徒・保護者ともに高い評価を得ている。 ・図書館の利用において、生徒・教職員ともに昨年度の評価ポイント下回り、積極的な利用が出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベストティーチャー制度は、保護者の授業参観は増加傾向にあるが、評価ポイントが昨年度を下回った。授業改善にも大きく繋がる制度であるため保護者への更なる理解促進が必要である。 ・図書館の利用において、生徒・教職員ともに昨年度の評価ポイント下回り、積極的な利用が出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒 2.58 生徒 2.62 保護者 2.82 保護者 2.81 教職員 2.66 教職員 3.03 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習意欲向上のためには、積極的な授業への参加、家庭での課題に留めること、自主的な学習の習慣を身につけさせる必要がある。 ・学習指導における生徒の評価は上昇傾向にあるが、三者面談などを通して学習指導に対する保護者への理解促進を図る必要がある。 ・受験指導ではなく生徒個々の興味・関心を尊重しながら学習意欲を高め、家庭学習の習慣と基礎学力の定着を図る。 ・授業数不足などの生徒には、特別補講を通して学習意欲の向上を図る。 ・特進クラスを中心に学習意欲の高い生徒に対しては、課外や夏期集中講座などを実施し、更なる学力向上を図る。 ・朝のSHRでの読書タイムを継続実施し、図書館利用の推進を図る。 	-	-
クラス指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生き力の育成に励む 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 生徒間の好ましい人間関係の構築に努める。 (2) 生徒の悩みや問題相談に努める。 (3) 楽しいクラス運営に努める。 (4) クラス・学校の一員としての役割・自覚を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒間の人間関係、悩みや問題相談、楽しいクラス運営は、生徒より高い評価を得ている。 ・生徒自身が学校・クラスの一員であることの自覚に対して高い評価を得ており、学校に対する帰属意識を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の悩みや問題相談では、生徒の評価に対して、一定の評価は得ているものの保護者の評価が昨年度を下回り、教職員の対応が保護者に伝わっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒 3.09 生徒 3.15 保護者 3.16 保護者 3.10 教職員 3.11 教職員 3.06 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のホームルーム活動や学校行事を通して、生徒同士が思いやれる気持ちやクラス・学校の一員としての自覚を育むために、学級担任や部活動顧問など関係教員が連携を図りながら、計画的に生徒への働きかけを実施する。 ・学級担任・教科担当教員・部活動顧問など教員の連携を強化し、生徒の悩みや問題の早期発見と迅速な対応を実施する。 ・生徒が抱える問題も日々複雑化しており、想定される諸問題に対する教員研修を実施し、教職員の意識と資質の向上を図る。 ・学級担任のみならず全教職員で、4かけ運動(声をかける・手をかける・目をかける・心にかける)の充実を図り、クラス運営をサポートする。 	-	-
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣の定着を徹底し、落ち着きのある学校生活環境づくりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 礼儀や挨拶の励行に努める。 (2) 頭髪・服装など身だしなみと公共マナーの遵守に努める。 (3) 清掃や整理整頓に努める。 (4) 施設・設備・備品等を大切に使用させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の励行、身だしなみ、清掃・整理整頓、通学時の公共マナーの遵守など、生活習慣の定着では継続的な指導により、生徒・保護者ともに高い評価を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣の定着において、挨拶の励行、清掃・整理整頓において、教職員の評価が昨年度を下回った。 ・公共マナーの遵守では、通学マナーに関する苦情もあり、引き続き指導が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒 3.22 生徒 3.26 保護者 3.15 保護者 3.14 教職員 2.88 教職員 2.90 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の指導(礼儀、挨拶、清掃、整理整頓、身だしなみ、公共マナーなど)において、生徒・保護者の評価と教職員の評価でギャップが生じていることから、更なる指導の充実と保護者への情報発信を実施し理解促進を図る必要がある。 ・生徒指導部と学級担任が連携し、礼儀、挨拶、清掃、整理整頓、身だしなみなどを生活の基本を身につけさせ、各家庭でも成果が実感できる指導を実施する。 ・通学マナー向上の取り組みを実施し、苦情連絡10)を目指す。 	-	-
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・上級学校への内部進学者を一定以上確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 進路に関する情報提供に努める。 (2) 進路に関する指導・面談に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部、学級担任、部活動顧問が連携し、約50%が東海大学へ進学している。 ・進路に関する情報提供、指導・面談では、生徒から高い評価を得ている。 ・各業界で活躍する卒業生による、高校生活の過ごし方から進路・職業選択に関するキャリア教育講座「先輩学講座」を継続的に実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路に関する情報提供・指導・面談では保護者からの一定の評価は得ているが、昨年度の評価ポイントを下回った。三者面談など生徒の進路希望に沿った情報提供・指導が一部の保護者に伝わっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒 3.04 生徒 3.09 保護者 3.14 保護者 3.06 教職員 3.14 教職員 3.15 	<ul style="list-style-type: none"> ・東海大学の概要や魅力については、生徒・保護者とも理解を得ているようであるが、東海大学以外の進路希望者への情報提供ならびに面談指導の更なる充実を図り、進路指導における保護者の理解促進を図る必要がある。 ・進路指導部と学級担任との情報を連携を密に取っていくことで、東海大学の魅力と進学のメリットを生徒・保護者に正確に伝える。 ・東海大学以外の大学、専門学校、就職等生徒個々の進路希望に応じた適時かつ適切な情報提供を実施する。 	-	-
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の更なる推進を図る。 ・生徒会活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学校行事、生徒会行事への積極的な参加を促す。 (2) 教職員は部活動の指導に熱意を持って取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事、生徒会行事への積極的な参加では、生徒から高い評価を得ている。 ・部活動の指導では、生徒・保護者とも高い評価を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事、生徒会行事への積極的な参加では保護者からの一定の評価は得られているが、昨年の評価ポイントを下回った。保護者への学校行事への参加促進を図り、理解に繋げる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒 3.09 生徒 3.13 保護者 3.11 保護者 3.08 教職員 3.24 教職員 3.28 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動、生徒会活動における保護者とのコミュニケーションを十分に図るとともに、活動成果をHPなどを通して広く伝え保護者をはじめとする利害関係者へ広く伝え、保護者の理解促進を図る必要がある。 ・部活動の練習方法を工夫することで、部活動での成績向上(勝利至上主義ではない)と学習時間の確保にも配慮し、更なる文武両道の実現を目指す。 ・活動の活性化のためにも部活動、生徒会への生徒加入率の向上を図る。 	-	-
第三者評価委員(2018年2月1日実施)		<p>【第三者評価委員による学校評価アンケート結果】 (4段階評価 : 4. そう思う, 3. だいたいそう思う, 2. あまりそう思わない, 1. そう思わない)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校運営 (評価3.7):「教職員の教育への取組み」、「保護者や地域との連携や情報発信」が項目内の平均点を下回り、本校の教育諸活動が外部に伝わっていない部分がある。 ○学習指導 (評価3.2):「他の設問項目に比べ評価が低い。学習や基礎学力の定着は外部評価に繋がりにくい項目ではあるが、自己評価では上昇傾向にあることをアピールする必要がある。 ○クラス指導 (評価3.6):「生徒の好ましい人間関係構築」、「教職員の生徒の悩みや問題に対する適切な対応」では評価を得ている。生徒が外部に与える印象が良い結果と考える。 ○生活指導 (評価3.5):「礼儀、挨拶、身だしなみ、清掃、整理整頓」は他の設問項目に比べ評価が低い。公共マナー遵守も含め学外における指導の徹底が必要である。 ○進路指導 (評価3.7): 東海大学の付属高校であることから進学実績もあり、進路に関する評価は得ている。 ○特別活動 (評価3.8): 部活動の指導では、各部活動の成果も高い評価を得ている。 <p>【第三者評価委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○18歳成人の時代を迎えようとしており、学校評価も生徒がどう思っているか、感じているかを重視しよと思う。 ○学校内は綺麗だが、学校周辺にごみが目立つ。大学生や地域社会人の影響が、モーニングクリーンの充実に努めて欲しい。 ○小中学校活動への支援をお願いしたい。憧れのお兄ちゃん、お姉ちゃんになってもらいたい。 ○生徒の皆さんの挨拶や行動を拝見して学校全体に好感を持っています。先生方の指導が素晴らしいのだと思います。 <p>●本年度(2017年度)第三者評価委員会では、委員による学校評価アンケートの実施ならびに意見聴取に留まったが、次年度(2018年度)からは、自己評価の在り方を含め、自己評価結果に対する第三者評価委員による評価を実施・まとめることで、自己評価結果に基づく今後の改善方策を見直し、次年度の重点目標、具体的取組みの改善に繋げていく予定である。</p>						